

2023年12月13日

インビボサイエンス株式会社
Axcelead Drug Discovery Partners株式会社

インビボサイエンスとAxcelead DDP、疾患モデル動物を使った創薬支援サービスで協業契約を締結

インビボサイエンス株式会社（本社：東京都目黒区、事業所：神奈川県川崎市、代表取締役：吉村 公志、以下「インビボサイエンス」）と Axcelead Drug Discovery Partners 株式会社（本社：神奈川県藤沢市、代表取締役社長：山田 伸彦、以下「Axcelead DDP」）は、この度、疾患モデル動物を使った創薬支援サービスに関する協業契約を締結しましたのでお知らせします。

インビボサイエンスは、公益財団法人 実験動物中央研究所（以下「実中研」）の技術を基に開発された NOG マウス^{*}やヒト化マウスといった多種多様な疾患モデル動物をグローバルに供給しており、実中研の豊富な経験と技術に基づく実験に関するノウハウや情報を保有しています。Axcelead DDP は、創薬経験豊富な 200 名以上の研究者を擁しており、製薬企業、バイオベンチャー、アカデミアなどの様々な創薬プレイヤーに、各種モデルや疾患に対する薬効薬理評価サービスを提供しています。

今回の契約では、疾患モデル動物の実験ノウハウを含めた豊富な情報を有するインビボサイエンスと疾患モデル動物を使った創薬研究に卓越した技術力を持つ Axcelead DDP が協業することで、お客様のニーズに合致した、より確度の高い *in vivo* 評価を迅速に提供できるようになります。また、本契約で Axcelead DDP は、インビボサイエンスからヒト化マウスモデルの特性や作出に関する知見・技術を得ることになり、疾患モデル動物作出のケイパビリティを一層高めることが可能になります。

インビボサイエンスの代表取締役 吉村 公志は、「今回の協業により創薬ソリューションプロバイダーである Axcelead DDP の豊富な人材と卓越した技術にインビボサイエンスが持つ実中研研究者の経験に基づくノウハウ、情報が合わさることで、重度免疫不全マウス、特にヒト化マウスを使用する研究分野に大きな変革を及ぼすものと期待しています。特殊なノウハウが必要な NOG マウス等を使用した研究が Axcelead DDP で幅広く実施できるようになることを大変嬉しく思います。」と述べています。

Axcelead DDP の CSO 伊井 雅幸は、「高品質で多様な疾患モデル動物を提供し、且つ、実験関連の豊富な経験と情報を持つインビボサイエンスと創薬支援サービスで協業できることを嬉しく思います。ヒト外挿性の高い疾患モデル動物を使った医薬品の開発は、創薬研究のスピードアップと成功確率向上につながることを期待されます。私たち Axcelead DDP は、引き続き、創薬プレイヤーの多様なニーズにお応えしながら、画期的新薬の創出に貢献してまいります」と述べています。

^{*} NOG マウス：NOD-scid マウスと数種のサイトカインレセプター共通ドメインである IL-2 レセプター γ 鎖ノックアウト (IL2R γ KO) マウスを交配して得られた系統です。NOD-scid マウスと比較してヒト組織の生着性が著しく高く、担がんマウスモデルや免疫ヒト化マウスモデルなど、創薬研究に幅広く活用されています。

以上

【インビボサイエンスについて】

インビボサイエンスは、（公財）実験動物中央研究所が開発した「NOG 関連マウス」を販売するために 2006 年に設立されました。重度免疫不全マウス、ヒト化マウスを使用してお客様が、より良い研究成果を得ることができるよう、研究者の皆様に実験ノウハウを含めた情報とともに「NOG 関連マウス」を提供しています。

<https://www.invivoscience.com/index.html>

【Axcelead DDP について】

Axcelead DDP は、2017 年 7 月に武田薬品工業株式会社の創薬プラットフォーム事業を継承して事業を開始した国内初の創薬ソリューションプロバイダーです。創薬に必要なほぼ全ての機能を有し、創薬ターゲットの探索から医薬品候補化合物の最適化、さらには臨床開発への橋渡しプロセスまでの非臨床創薬研究サービスをワンストップで提供しています。<https://www.axcelead.com/>